

様 式 Z - 7

## 平成 2 6 年度科学研究費助成事業 実績報告書 ( 研究実績報告書 )

1. 機関番号 

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(B) ( 海外学術調査 ) 4. 研究期間 平成 2 5 年度 ~ 平成 2 8 年度
5. 課題番号 

2	5	3	0	1	0	3	9
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 海外日本人社会における移民主体の変容とコミュニティの再形成に関する経験的研究

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 2 4 0 3 4 5	ヨシハラ ナオキ	社会情報学部	教授
	吉原 直樹		

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
5 0 1 6 4 8 3 5	ハセベ ヒロシ	東北大学・経済学研究科 ( 研究院 )	教授
	長谷部 弘		
8 0 1 3 3 9 1 6	コンノ ヒロアキ	専修大学・人間科学部	教授
	今野 裕昭		

## 9. 研究実績の概要

年度を通して 2 回研究会を開催し、関連研究者からレビューを受けるとともに、中間成果報告書刊行のための作業スケジュールを検討し確定した。また当初予定していたジャカルタでのアンケート調査はインフォーマント ( 現地研究協力者 ) の都合により取りやめた。その代り、中間成果報告書作成に向けての現地調査を実施した。なお、繰越 ( 翌債 ) を必要とする理由書の補足説明で示した、当初平成 2 6 年 1 2 月に行うことになっていた現地調査は、平成 2 7 年 8 月に実施した。

## 10. キーワード

- (1) 海外日本人社会 (2) メディア (3) ネットワーク (4) ライフスタイル難民  
 (5) 移民コミュニティ (6) (7) (8)

( 注 ) ・印刷に当たっては、A 4 判 ( 縦長 ) ・両面印刷すること。

( 1 / 5 )

## 11. 現在までの進捗状況

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

繰越(翌債)を必要とする理由であげた現地調査については実施することができたが、中間報告書の刊行の手続きに手間取り、全体の進捗状況に若干の遅れが生じた。

## 12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

交付申請書に基づいて、中間成果報告書の内容に関するセミナーおよび講演を開催するとともに、報告書の英語化のための現地補充調査を実施する。そして最終的に成果報告書(デジタル版)の刊行に向けての作業をおこなう。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

平成27年度に中間報告書を作成・刊行する計画があり、主にそれに関する費用にあてるため

(使用計画)

平成27年度に中間報告書を作成・刊行。

## 13. 研究発表(平成26年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(2)件/うち査読付論文 計(1)件/うち国際共著論文 計(0)件/うちオープンアクセス 計(0)件

著者名		論文標題				
吉原直樹		剥奪され続ける原発災害避難民 大熊町町政懇談会の現場から				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
東北都市学会『東北都市学会研究年報』	有	14	2   0   1   4	73-88	-	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
吉原直樹		もうひとつの避難者たち おおくま町会津会の人びと				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
専修大学学会『専修人文論集』	無	95	2   0   1   4	367-387	-	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

(学会発表) 計(0)件/うち招待講演 計(0)件/うち国際学会 計(0)件

発表者名		発表標題	
学会等名	発表年月日	発表場所	

(図書) 計(0)件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

## 14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

## 15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

(国際研究集会) 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

## 16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究: -

17.備考

